

Adobe Substance 3D Assets追加条件

発効日：2021年6月23日以前のすべてのバージョンを置き換えます。

本Substance 3D Assets追加条件（以下「本追加条件」という）は、お客様によるSubstance 3Dアセットの使用に適用され、www.adobe.com/go/terms_jpに掲載されているアドビ基本利用条件（以下「アドビ基本利用条件」という）に参照により組み込まれます（本追加条件とアドビ基本利用条件を総称して「本条件」という）。本追加条件で定義されていない用語は、アドビ基本利用条件に定義されるものと同じ意味を有します。本追加条件において、「本サービス」とは、Substance 3D Assetsを指します。

1. 定義

- 1.1. 「組み込み作品」とは、Substance 3D Assetsを修正せずに組み込んだ、新しい著作物を意味します。
- 1.2. 「変更作品」とは、Substance 3D Assetsを少なくとも部分的に変更して作成された新しい著作物を意味します。
- 1.3. 「Substance 3D Assets」とは、Substance 3D Assets（または3D Assets）のwebページ、Substance Launcher、Creative Cloudデスクトップ、またはSubstance 3D Assetsもしくは3D Assetsと明示されているその他のアドビ所有のプロパティで利用可能なSubstance 3D Assets（マテリアル、モデル、ライト、アトラス、テクスチャを含みますが、これらに限定されません）を意味します。
- 1.4. 「ユーザー」とは、Substance 3D Assetsを使用できる、またはそれにアクセスできる個人を意味します。
- 1.5. 「VIP」とは、Adobe's Value Incentive Plan（以下「VIP」という）購入プログラムを意味します。

2. ライセンス

2.1 ライセンスメトリック Substance 3D Assetsはユーザー単位でライセンス許諾されます。ただし、Substance 3D Assets Unlimitedは、サイト単位でライセンス許諾されます。当社がお客様にライセンス許諾する1つまたは複数のSubstance 3D Assets（以下「許可された数」）の月間クレジット数（以下「クレジット」という）は、お客様がAdobe Substance 3Dプランを購入する際にプラン説明書に明記されます。お客様の現在の残りのクレジット数を確認するには、Substance 3D Assetsのwebサイトにログインする必要があります。

お客様がプランをAdobe Substance 3D コレクションプランからAdobe Substance 3Dテクスチャリングプランに変更した場合、お客様の未使用クレジットは、マテリアルとして分類されるSubstance 3D Assetsのダウンロードに限定されます。

2.2 ライセンス許諾 お客様が本条件および許可された数を遵守することを条件に、当社はおお客様に対し、以下の世界的、非独占的、限定的、取消可能、譲渡不能、サブライセンス不能（本追加条件で明示的に許可されている場合を除く）な永続ライセンスを許諾します。

- (A) Substance 3D Assetsの使用、コピー、および変更

- (B) 変更作品または組み込み作品の形式でのみ、Substance 3D Assetsに基づいて派生作品を作成すること
- (C) 変更作品に変更した、または組み込み作品に組み込んだ形でのみ、Substance 3D Assetsをコピー、公開展示、公開実演、および頒布すること
- (D) 変更作品または組み込み作品の権利をサブライセンスすること

3. 制約

3.1. お客様によるSubstance 3D Assetsの使用には、以下のライセンス制約事項が適用されます。お客様は、以下を行うことはできません。

- (A) (1) 変更作品への変更、または(2) 組み込み作品への組み込みがおこなわれていないSubstance 3D Assetを公開展示、公開実演、頒布、またはサブライセンスすること
- (B) 第三者がSubstance 3D Assetを独立して使用、ダウンロード、抽出、またはアクセスできるような方法でSubstance 3D Assetを使用すること
- (C) Substance 3D Assetsに関して、知的財産権をはじめとする個人や団体の権利を侵害する行為を行うこと（例えば、Substance 3D Assetsの原作者の著作者人格権や、Substance 3D Assets内の個人または法人の権利、使用されている物品の所有者の権利など）
- (D) Substance 3D Assetsを商標、ロゴ、またはサービスマークに組み込むこと
- (E) Substance 3D Assetsをポルノ、誹謗中傷、その他の違法な方法で使用すること
- (F) Substance 3D Assets（サーバー、接続されたネットワーク、Substance 3D Assetsを含む）を妨害または破壊する活動に関与すること

疑義を避けるために付記すると、Substance 3D Assetsの変更されていない独立したコピーを公開表示、公開実演、頒布、またはサブライセンスすることはできません。

3.2. (A) Substance 3D Assetsを含まない変更作品または組み込み作品がオリジナルの著作物として認められる場合、および (B) 変更作品または組み込み作品の主要な価値がSubstance 3D Assets自体にない場合、お客様はSubstance 3D Assetsを変更作品または組み込み作品に組み込んでのみ頒布することができます。

3.3. **人工知能または機械学習に関する制約** お客様は、直接的または間接的に、機械学習アルゴリズムまたは人工知能システム（アーキテクチャ、モデル、ウェイトを含むがこれらに限定されない）を作成、訓練、テスト、またはその他の方法で改善するために、本サービスもしくは本ソフトウェア（または本サービスもしくは本ソフトウェアから受信または派生したコンテンツ、データ、Substance 3D Assets、出力、その他の情報）を使用してはならず、使用するよう第三者に指示または許可してはなりません。

4. **終了の効果** サブスクリプションおよび更新条件が終了した場合、お客様は未使用のクレジットに対するすべての権利を失います。上記の第2条（ライセンス）で許諾されたライセンスに基づいて、サブスクリプ

ションの終了前にダウンロードおよび支払いが完了したSubstance 3D Assetsは終了後も使用でき、かかる状況で使用されるSubstance 3D Assetsには引き続き本条件が適用されます。当社は、お客様のサブスクリプションが終了した後、お客様がダウンロードしたSubstance 3D Assetsの可用性を維持する責任を負いません。明確さのために付記すると、お客様は、第3条（制約）に違反して作成または使用した変更作品または組み込み作品をサブライセンスまたは頒布してはなりません。

5. **所有権** アドビおよびそのライセンサーは、Substance 3D Assetsに関するすべての権利、権原、所有権を保持します。

6. **VIP専用** 本第6条は、お客様がVIPを通じてAdobe Substance 3D コレクションプランをライセンスする場合にのみ適用されます。クレジットは、「VIPプログラムガイド」に記載されている消耗品です。未使用のクレジットは毎月蓄積され、発行日から連続12か月まで繰り越すことができます。ただし、お客様がAdobe Substance 3D Collectionプランのサブスクリプションを失効させることなく更新した場合に限ります。お客様が複数のユーザー指定ライセンスを購入した場合、クレジットはサブスクリプション期間中、お客様のビジネスユーザー全員で共有されます。例えば、1年間に2つのユーザー指定ライセンスを購入し、毎月100クレジットが発行される場合、サブスクリプション期間の1か月目にクレジットが使用されなければ、サブスクリプション期間の2か月目に、ビジネスユーザーは400クレジットの共有プールにアクセスできることになります（100クレジット x 2ビジネスユーザー x 2か月）。未使用のクレジットは、最初に発行された日から12か月後に自動的に失効します。